

令和2年度【観光振興事業】補助事業要望調査票(タクシー関係)

令和2年度の車両・機器等導入にかかる補助事業について、各事業者の皆さまのご要望を調査します。

毎年度、早期の内示、交付決定を希望するご意見を多数いただくため、今回調査時期を前倒すこととしました。よって、現時点(令和元年度)の補助金交付要綱、実施要領、運用方針に基づき、調査を実施します。補助金交付要綱等が正式に策定された際、ご要望に沿わない結果になることもあり得ます。さらに、バリアフリー車両の地方への普及等、当省の進める政策の主旨をご理解の上、積極的に取り組まれる事業者を優先的に支援させていただきたいと考えています。その点ご了承の上、ご回答ください。

ご要望は、各地方運輸局運輸支局の管轄区域毎に調査票にまとめ、当該運輸支局の輸送担当あてに提出してください。

会社名

ご担当者名

※グループ内で同一法人名がある場合は、カッコ書き等で法人を区別できるよう記載願います。

(TEL)

ご連絡先 (FAX)

(E-mail アドレス)

【必ずお読みください】観光振興事業の要件について

- ※1 観光振興事業補助は、「平成31年3月28日付 観光庁告示第三号」により、観光庁長官の指定を受けた外国人観光旅客利便増進措置を講ずべき区間(以下「指定区間」)内の駅・ターミナル等を営業区域に含むものが対象となります。
また、補助金交付申請を行うまでに観光庁の指定する手続きにより、公共交通利用環境刷新計画の認定を受ける必要があります。
- ※2 観光振興事業補助を活用するには、多言語対応・無料Wi-Fiサービス導入・キャッシュレス決済対応を行うことが必須要件となります。
(例. 多言語対応の補助を受ける場合、機器導入と同時に、無料Wi-Fi導入及びキャッシュレス決済を行う)
(例. 多言語対応の補助を受ける場合、機器導入の際、すでに無料Wi-Fi導入及びキャッシュレス決済が行われている)
- ※3 観光振興事業補助を活用してUDタクシー(KT-10)を導入するには、多言語対応・無料Wi-Fiサービス導入・キャッシュレス決済対応を、車両の導入と同時に行うことが必須要件となります。
(例. UDタクシーの補助を受ける場合、車両導入と同時に、多言語対応・無料Wi-Fiサービス・キャッシュレス決済対応を行う)
(例. UDタクシーの補助を受ける場合、車両導入の際、すでに多言語対応・無料Wi-Fiサービス・キャッシュレス決済対応が行われている)
- ※4 UDタクシー(KT-10)の導入には、交付申請の時点までに以下の要件を満たす必要があり、交付申請の際に証明書類を提出いただきます。
イ) 補助車両1台につき、ユニバーサルドライバー研修を受講した運転手を2名以上配置できること。
ロ) 通達「ユニバーサルデザインタクシーによる運送の適切な実施について」(H30.11.8付)に基づく研修(実車を用いた研修)を、年2回以上実施していること。
- ※5 多言語対応、無料Wi-Fiサービス、キャッシュレス決済対応、UDタクシー(KT-10)の導入に要する経費のうち、オプションを除く機器本体価格(税抜き)・車両本体価格(税抜き)が補助対象になります。

1. 観光振興事業の要件該当確認

○ 営業区域(交通圏) ()

○ 必須メニュー導入計画 (導入形態の確認) (観光振興補助金申請の有無確認)

※以下の3つのうちどれかを選択してください。

※以下の2つのうちどれかを選択してください。

- | | | | | | |
|----------------|-------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
| ・ 多言語対応 | ☐ 新規導入 | ☐ 既存機器の活用 | ☐ 機能向上(買換) | ☐ 補助金申請する | ☐ 補助金申請しない |
| ・ 無料Wi-Fi サービス | ☐ 新規導入 | ☐ 既存機器の活用 | ☐ 機能向上(買換) | ☐ 補助金申請する | ☐ 補助金申請しない |
| ・ キャッシュレス決済対応 | ☐ 新規導入 | ☐ 既存機器の活用 | ☐ 機能向上(買換) | ☐ 補助金申請する | ☐ 補助金申請しない |

○ 選択メニュー導入計画

- ・ インバウンド対応型タクシー (UDタクシー) ☐ 導入する (☐ 新規導入 ☐ 車両代替(UD→UD))
- ・ 情報端末充電機器等 ☐ 導入する (☐ 新規導入 ☐ 機能向上(買換))

※1 「新規導入」とは、未導入の場合であり、一部でも導入している場合は該当しません。

例① 導入予定のUDタクシー車両に搭載するための翻訳タブレット又は翻訳機(ポCKETーク等)、無料WiFiルーター、クレジットカード決済端末等キャッシュレス決済機器(3点セット)のうちどれかが導入済み(購入済み、又は既存車両から付け替え予定)という場合は、他の機器を新たに購入する場合でも、「新規導入」には該当しません。

例② 導入予定のUDタクシー車両に搭載するための翻訳タブレット、又は翻訳機(ポCKETーク等)、無料WiFiルーター、キャッシュレス決済機器(3点セット)がどれも導入されておらず、新たに導入する必要がある場合(既に所有している車両にこれらが導入されている場合でも、付け替えの予定がないため、追加で購入が必要な場合)は、「新規導入」に該当します。

例③ UDタクシー車両の導入がなく、所有車両の中に翻訳タブレット又は翻訳機(ポCKETーク等)、無料WiFiルーター、キャッシュレス決済機器(3点セット)全てが導入されていない車両があり、その車両にこれら3点セットを新たに導入するという場合は、他の所有車両の中に3点セット導入済みの車両があったとしても、「新規導入」に該当します(車両単位で判断しているため)。

2. 令和2年度の要望台数及び要望額について

① 多言語化への取り組み

整理記号	要望台数	要望台数	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額 (補助対象経費×補助率※)	導入予定時期
KT-1	多言語案内用タブレット (翻訳アプリが搭載されたもの)	台	万円	万円	令和 年 月 日
KT-2	多言語翻訳システム機器 (ポケットーク、iii(イリィ)等)	台	万円	万円	令和 年 月 日
KT-3	ホームページの多言語表記	式	万円	万円	令和 年 月 日

※ 補助率は、上記1. 必須メニュー導入計画がすべて「新規導入」となっている場合は1/2、それ以外は1/3を適用してください。

※1 多言語案内用タブレット(KT-1)について、決済用タブレットは翻訳アプリの有無にかかわらず、キャッシュレス車載機器として要望してください。
※2 ホームページ(KT-3)はパソコン、スマートフォンから利用可能で、検索機能、予約システムを備えたものに限ります。
※3 各導入機器については、製品が特定でき、要望額が検証できるよう、カタログ、見積書(なければ価格表)の写しを添付してください。ないものについては内示できない場合があります。

② その他多言語化(案内標識の多言語表記、案内放送の多言語化等)

整理記号	事業概要	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額 (補助対象経費×補助率※)	導入予定時期
KT-4		万円	万円	令和 年 月 日

※ 補助率は、上記1. 必須メニュー導入計画がすべて「新規導入」となっている場合は1/2、それ以外は1/3を適用してください。
事業の具体的内容を以下に記入の上、見積書(なければ価格を検証できるもの)を添付してください。

※1 多言語表記は英語併記を行うものを基本とし、中国語(簡体字/繁体字)又は韓国語その他必要とされる言語も対象とします。表記に当たっては、視認性、美観を損なわないよう配慮する必要があります。
※2 ナンバリング、ピクトグラムにかかる経費は、多言語表記と合わせて行う場合補助対象とします。
※3 事業内容が判別でき、要望額が検証できるよう、カタログ(事業内容を説明した書面)、見積書(なければ価格表)の写しを添付してください。ないものについては内示できない場合があります。

③ 無料公衆無線LAN機器の導入

整理記号	要望台数	要望台数	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額 (補助対象経費×補助率※)	導入予定時期
KT-5	無料公衆無線LAN(無料Wi-Fi)	台	万円	万円	令和 年 月 日

※ 補助率は、上記1. 必須メニュー導入計画がすべて「新規導入」となっている場合は1/2、それ以外は1/3を適用してください。

※1 無料公衆無線LAN環境の整備に要する経費は、「機器購入費」(無料公衆無線LAN機器の購入に係る費用)及び「機器設置工事費」(無料公衆無線LAN機器の設置工事に係る費用、ソフトウェア購入費(セキュリティ対策含む。))を補助対象とします。
※2 いわゆる「ポケットWiFi」を導入する場合は、容易に持ち出しできないよう、車両内部に固定するものを補助対象とします。
※3 本事業による補助金を活用し、無料公衆無線LAN環境の整備を図る際は、共通シンボルマークJapan.Free Wi-Fiの申請も併せて行い、同シンボルマークの掲出を行う必要があります。
※4 製品が特定でき、要望額が検証できるよう、カタログ、見積書(なければ価格表)の写しを添付してください。ないものについては内示できない場合があります。

④ キャッシュレス車載機器の導入

整理記号	要望台数	要望台数	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額 (補助対象経費×補助率※)	導入予定時期
KT-6	クレジット決済機器	台	万円	万円	令和 年 月 日
KT-7	QR決済機器	台	万円	万円	令和 年 月 日
KT-8	交通系IC決済機器	台	万円	万円	令和 年 月 日

※ 補助率は、上記1. 必須メニュー導入計画がすべて「新規導入」となっている場合は1/2、それ以外は1/3を適用してください。

- ※1 決済用タブレットは翻訳アプリの有無にかかわらず、キャッシュレス車載機器(クレジット決済機器)として要望してください。
- ※2 クレジット、QR、交通系ICの機能を併せ持つ複合機は「クレジット決済機器」として要望してください。QR、交通系ICの機能を併せ持つ複合機は「交通系IC決済機器」として要望してください。
- ※3 観光振興事業では、タクシーメーターはキャッシュレス機器として対象になりません。ドライブレコーダーは他の補助制度の対象となるため、本事業では補助対象になりません。デジタルタコグラフ機器が一体となっている機器については、他の補助事業を活用する場合、補助対象となりません。
- ※4 機能の明確な向上ではないもの(故障、老朽化等に対応するための修理修繕及び代替更新のみに要する経費)は補助対象になりません。
- ※5 各導入機器については、製品、機器構成が判別でき、要望額が検証できるよう、カタログ(システム構成図)、見積書(なければ価格表)の写しを添付してください。ないものについては内示できない場合があります。

○他の補助制度活用の予定

- ☐ 自動車事故対策支援推進事業(国交省) (☐ ドライブレコーダー ☐ デジタルタコグラフ)
- ☐ キャッシュレス・消費者還元事業(経産省) ☐ その他の補助制度()

⑤ その他キャッシュレスシステムの導入

整理記号	事業概要	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額 (補助対象経費×補助率※)	導入予定時期
KT-9		万円	万円	令和 年 月 日

※ 補助率は、上記1. 必須メニュー導入計画がすべて「新規導入」となっている場合は1／2、それ以外は1／3を適用してください。
事業の具体的内容を以下に記入の上、見積書(なければ価格を検証できるもの)を添付してください。

- ※1 機能の明確な向上ではないもの(故障、老朽化等に対応するための修理修繕及び代替更新のみに要する経費)は補助対象になりません。
- ※2 各導入機器については、製品、機器構成が判別でき、要望額が検証できるよう、カタログ(システム構成図)、見積書(なければ価格表)の写しを添付してください。ないものについては内示できない場合があります。

⑥ インバウンド対応型タクシー(UDタクシー)の導入について

整理記号	要望台数	要望台数	補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額 (上限額下記参照)	導入予定時期
KT-10	インバウンド対応型タクシーの導入	台	万円	万円	令和 年 月 日

※上限額は、上記1. で必須メニュー導入計画がすべて「新規導入」となっている場合は90万円、それ以外は60万円となります。
「補助対象経費」には補助対象車両価格(オプション抜き)+車載機器価格×台数、又は改造費+車載機器価格×台数を記載してください。

- ※1 インバウンド対応型タクシーの導入については、導入・改造に要する経費のうちオプションを除く車両本体価格及び車載器類の価格、改造費が補助対象になります。
- ※2 補助対象となる車載機器類は以下の通りです。
ア 車いす等固定装置 イ 車いす用シートベルト ウ 手すり エ 点滴等フック固定装置 オ 車いす用ヘッドレスト
カ 上記アからオまでに掲げるもののほか、バリアフリー化に資する車載機器類であって、大臣が認めるもの
キ 多言語対応端末(タブレット端末、音声翻訳機 等) ク 無料Wi-Fiサービス ケ キャッシュレス決済端末
- ※3 交付申請の時点までに以下の要件を満たす必要があり、交付申請の際証明書類を提出いただきます。
イ) 補助車両1台につき、ユニバーサルドライバー研修を受講した運転手を2名以上配置できること。
ロ) 通達「ユニバーサルデザインタクシーによる運送の適切な実施について」(H30.11.8付)に基づく研修(実車を用いた研修)を年2回以上実施していること。

以下については、貴社の状況・予定を記入してください。

○車両の導入状況 (以下に数値を記載してください。)

- ・タクシー車両の総保有台数 ()台 (要望調査票提出現在において)
- ・UDタクシー車両の総保有台数 ()台 (うち、国庫補助を活用して導入したUDタクシー車両台数 ()台)

○UDタクシーの導入要件確認 (該当するものにチェック☑をしてください。)

- ☐ 補助車両1台につき、ユニバーサルドライバー研修を受講した運転手を2名以上配置できる(交付申請時まで)。
- ☐ H30.11.8付通達に基づく研修(実車を用いた研修)を年2回以上実施できる(交付申請時まで)。

⑦ 情報端末への電源供給機器、非常用電源装置の導入

整理記号	事業概要		補助対象経費(税抜)	国庫補助要望額 (対象経費/2)※	導入予定時期
KT-11	情報端末への電源供給機器	台	万円	万円	令和 年 月 日
KT-12	非常用電源装置	台	万円	万円	令和 年 月 日
KT-13	その他付随機器	台	万円	万円	令和 年 月 日

※ 補助率は、上記1. 必須メニュー導入計画の回答にかかわらず、1/2となります。

その他の内容を以下に具体的に記入してください。

- ※1 情報端末への電源供給機器(KT-11)は、災害等の発生時において訪日外国人旅行者が所有する携帯電話等の情報端末を充電するための機器が補助対象となります。(情報端末を同時に10台以上充電できるものが補助対象となります。)
- ※2 非常用電源装置は(KT-12)は、旅客施設や車内・船内において、多言語で情報提供等を行うために必要な非常用電源装置(蓄電池システム、発電機等)が補助対象となります。
- ※3 各導入機器については、故障、老朽化に対応するための機能の明確な向上を伴わない修理修繕、代替更新のみに要する経費は補助対象としません。
- ※4 各導入機器については、製品、機器構成が判別でき、補助対象経費が検証できるよう、カタログ、見積書(なければ価格表)の写しを添付してください。ないものについては内示できない場合があります。

3. 公共交通利用環境刷新について

○事業の目的等(導入予定地域の訪日外国人旅行者の来訪状況、導入後の効果等)

○成果目標

・評価指標 (該当するものにチェック☑の上、それぞれの年度の数値を記載してください。)

インバウンド対応に資する設備の整備率

対象車両数 【 】 (全車両、空港アクセス、観光地周遊用、対象営業所所有車両等)

- ☐ 対象車両に占める多言語翻訳タブレット導入率 2019年度 ()% → 2020年度 ()%
- ☐ 対象車両に占める多言語翻訳機器導入率 2019年度 ()% → 2020年度 ()%
- ☐ 対象車両に占める表示の多言語化率 2019年度 ()% → 2020年度 ()%
- ☐ 対象車両に占める案内放送の多言語化率 2019年度 ()% → 2020年度 ()%
- ☐ 対象車両に占める無料Wi-Fi導入率 2019年度 ()% → 2020年度 ()%
- ☐ 対象車両に占めるクレジットカード機器導入率 2019年度 ()% → 2020年度 ()%
- ☐ 対象車両に占めるICカード決済機器導入率 2019年度 ()% → 2020年度 ()%
- ☐ 対象車両に占めるQR決済機器導入率 2019年度 ()% → 2020年度 ()%
- ☐ その他() 2019年度 ()% → 2020年度 ()%

・算定方法 (該当するものにチェック☑の上、それぞれの年度の数値を記載してください。)

☐ 多言語翻訳タブレット導入率算出方法

2019年度: 導入済み車両数()台 対象車両数に占める割合()%
2020年度: 導入済み車両数()台 対象車両数に占める割合()%

☐ 多言語翻訳機器導入率算出方法

2019年度: 導入済み車両数()台 対象車両数に占める割合()%
2020年度: 導入済み車両数()台 対象車両数に占める割合()%

- ☐ 表示の多言語化率算出方法
2019年度: 対応済み車両数()台 対象車両数に占める割合()%
2020年度: 対応済み車両数()台 対象車両数に占める割合()%
- ☐ 案内放送の多言語化率算出方法
2019年度: 対応済み車両数()台 対象車両数に占める割合()%
2020年度: 対応済み車両数()台 対象車両数に占める割合()%
- ☐ 無料Wi-Fi導入率算出方法
2019年度: 導入済み車両数()台 対象車両数に占める割合()%
2020年度: 導入済み車両数()台 対象車両数に占める割合()%
- ☐ クレジットカード機器導入率算出方法
2019年度: 導入済み車両数()台 対象車両数に占める割合()%
2020年度: 導入済み車両数()台 対象車両数に占める割合()%
- ☐ ICカード決済機器導入率算出方法
2019年度: 導入済み車両数()台 対象車両数に占める割合()%
2020年度: 導入済み車両数()台 対象車両数に占める割合()%
- ☐ QR決済機器導入率算出方法
2019年度: 導入済み車両数()台 対象車両数に占める割合()%
2020年度: 導入済み車両数()台 対象車両数に占める割合()%
- ☐ その他()導入率算出方法
2019年度: 導入済み車両数()台 対象車両数に占める割合()%
2020年度: 導入済み車両数()台 対象車両数に占める割合()%
- ☐ その他()導入率算出方法
2019年度: 導入済み車両数()台 ○○○○○に占める割合()%
2020年度: 導入済み車両数()台 ○○○○○に占める割合()%